

社会資本総合整備計画(地域住宅支援)

おおいたけん

大分県における

れきしてきけいかん

歴史的景観まちづくり

ちいきかんれんけい

地域間連携の

きょうか

強化

(第5回変更)

ひたし

日田市、

うすきし

臼杵市、

たけたし

竹田市、

きつきし

杵築市、

うさし

宇佐市

平成29年6月

社会資本総合整備計画（地域住宅支援）

平成29年6月5日

計画の名称	大分県における歴史的景観まちづくりと地域間連携の強化								重点配分対象の該当
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）			交付対象	日田市、臼杵市、竹田市、杵築市、宇佐市				
計画の目標	『大分県らしい街なみ・住環境整備を広域的に連携させ、合わせて観光振興や地域間の交流・連携を図ることにより、「住んでよし・来て楽しい」まちづくりを実現する。』								

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・居住者と観光客の共存を図るための街なみ及び住環境整備による居住者の整備等に対する満足度 ・大分県内における街なみ整備地区の活用率向上 ・地区内の観光客・交流人口の自然減少の抑制 								
----------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値					備考						
	当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)									
居住者の整備等に対する満足度（ポイント：5点=満足、4点=やや満足、3点=普通、2点=やや不満、1点=不満とし各地区の平均を算定） (街なみ・住環境満足度) = (個別回答満足度計×地区数) / (全地区アンケート回答数)	3.1ポイント	—	3.5ポイント			<ul style="list-style-type: none"> ・（定住自立圏共生ビジョン名）に基づき実施される要素事業：A全て ・（連携中核都市圏ビジョン名）に基づき実施される要素事業：A4 						
大分県内の街なみ整備地区のイベント開催数を通した街なみ活用率 (活用率) = (全地区の年間イベント回数の平均 / 従前の全地区年間イベント回数の平均) (%)	6.2回 (±0%)	—	7.1回 (+15%)									
地区内の観光客・交流人口の自然減少の抑制 (観光客・交流人口数) = (最終年度の観光動態調査に基づく観光客・交流人口数を現況値と比較して維持させるものとする)	639,715人	—	639,715人									
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,361 百万	A	1,318 百万	B	0 百万	C	43 百万	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	3.3%

交付対象事業

A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H27	H28	H29	H30	H31				
1-A-1	住宅	一般	日田市	直／間	日田市	豆田地区街なみ環境整備事業	地区公共施設、道路美装、案内板等、修景助成	日田市						213	—	—	
1-A-2	住宅	一般	臼杵市	直／間	臼杵市	臼杵城下周辺地区街なみ環境整備事業	事業計画策定、地区防災施設、地区施設整備、修景助成	臼杵市						100	—	—	
1-A-3	住宅	一般	竹田市	直／間	竹田市	竹田地区街なみ環境整備事業	修景助成、歴史的風致形成建造物整備・助成	竹田市						207	—	—	
1-A-4	住宅	一般	杵築市	直／間	杵築市	杵築地区街なみ環境整備事業	協議会助成、修景整備、修景助成	杵築市						146	—	—	
1-A-5	住宅	一般	宇佐市	直／間	宇佐市	宇佐地区街なみ環境整備事業	地区施設整備、道路美装、電線地中化、修景助成	宇佐市						430	—	—	
1-A-6	住宅	一般	竹田市	直／間	竹田市	長湯地区街なみ環境整備事業	道路美装化、街路灯、案内板、修景助成	竹田市						222	3.0	—	
合計											1,318						

B 関連社会資本整備事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H27	H28	H29	H30	H31				
合計											0	—	—				

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
1-C-1	住宅	一般	臼杵市	直接	臼杵市	景観形成情報発信事業	景観ガイドブック作成	臼杵市						4	
1-C-2	住宅	一般	杵築市	直接	杵築市	歴史的建造物保存活用事業	庭園・門扉修景整備	杵築市						36	
1-C-3	住宅	一般	杵築市	直接	杵築市	歴史的建造物情報発信事業	街なみ活用パンフレット作成	杵築市						3	
合計											43				

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
1-C-1	臼杵城下周辺地区の景観形成に係るガイドブックを作成することで、観光客には街並みの歴史的成り立ちを発信でき、地域住民には、守るべき街並み景観の意義を周知させることできる。															
1-C-2	杵築地区に残る歴史的建造物の庭園や門扉等の周辺環境の景観整備を行うことで、歴史的建造物と一体となった魅力を発信でき、観光交流人口の増加が期待できる。															
1-C-3	杵築地区の歴史的建造物に係るパンフレットを作成することで、観光客には街並みの歴史的成り立ちを発信でき、地域住民には、守るべき街並み景観の意義を周知させることできる。															

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当なし）															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
合計															

交付金の執行状況

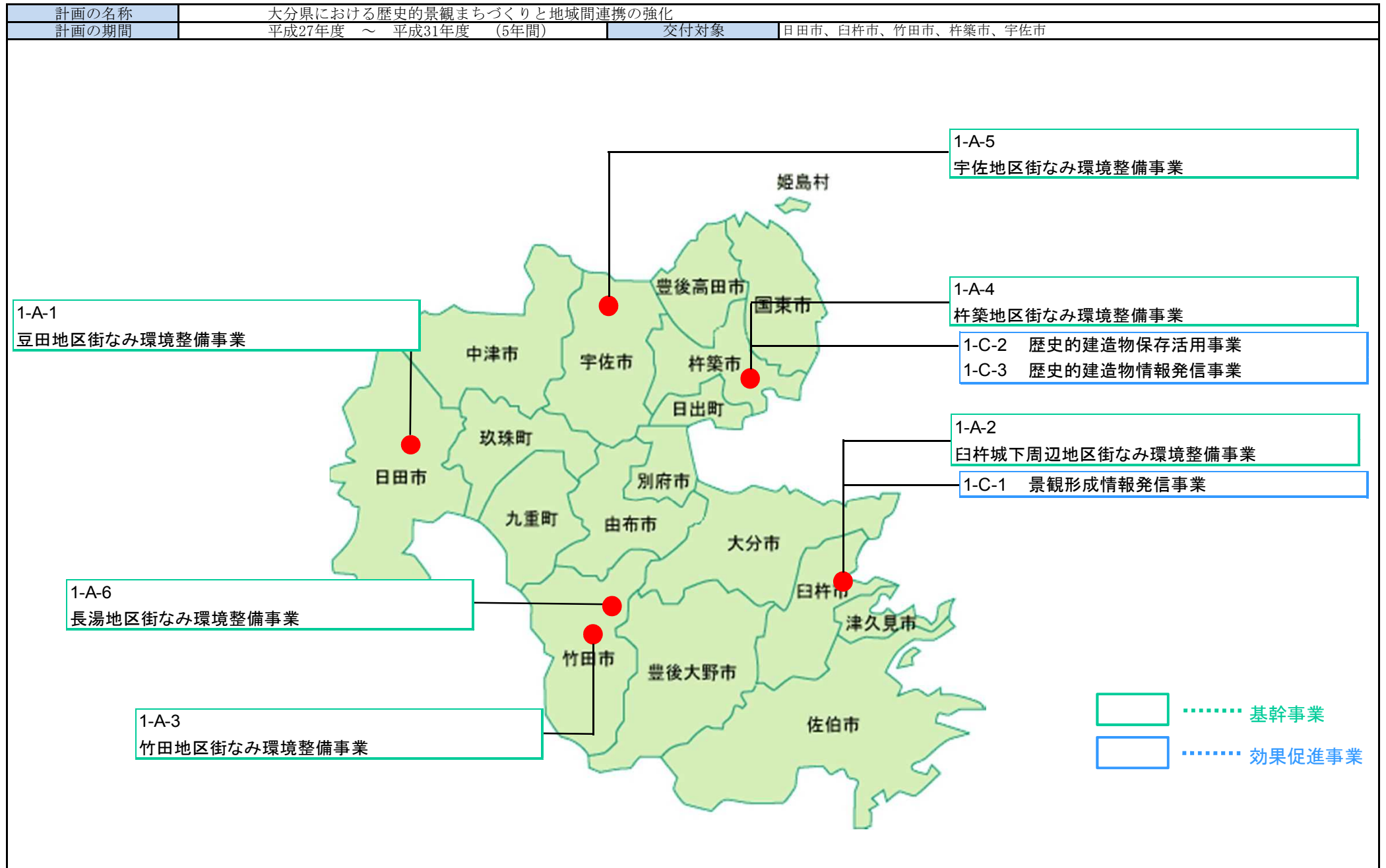
(単位:百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	16	24	64		
計画別流用 増△減額 (b)	0	3			
交付額 (c=a+b)	16	27	64		
前年度からの繰越額 (d)	0	0	1		
支払済額 (e)	16	26			
翌年度繰越額 (f)	0	1			
うち未契約繰越額 (g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0		0	0
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%	#DIV/0!	#DIV/0!
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由					

※ 平成27年度以降の各年度の決算額を記載。

※ 平成28年度は、決算額が確定でき次第記載。

(参考図面) 社会資本総合整備計画 (地域住宅支援)



社会資本整備総合交付金チェックシート

(街かんタイプ)

計画の名称 : 大分県における歴史的景観まちづくりと地域間連携の強化

地方公共団体名: 大分県

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
②景観形成を図るべき地域として位置付けられている又は位置付けられる予定である。 (地域名称等: 豆田・臼杵城下周辺・竹田・杵築・宇佐 景観形成地区)	<input type="radio"/>
③地域の住宅・建築ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	<input type="radio"/>
④地域の課題を的確に踏まえた目標となっている。	<input type="radio"/>
⑤緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。 (該当するものに○) ア 老朽化した住宅ストックの更新 イ 安全面、衛生面等の居住環境の改善 ウ 子育て世帯、高齢者、障害者等の居住の安定の確保 エ 既存住宅ストックの有効活用 オ まちなか居住の推進 カ 地方定住の推進 キ 住宅・建築物の安全・安心確保 ク 良好な住環境の整備 ケ 地域の特色ある街並みの整備 コ その他(地域の実情に応じた緊急性の高い課題を記入)	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性	
①事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	<input type="radio"/>
②十分な事業効果が得られることが確認されている。	<input type="radio"/>
③事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	<input type="radio"/>
④地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性	
①事業熟度が十分である。	<input type="radio"/>
②計画内容に関し、住民に対する説明等が行われている。	<input type="radio"/>
③事業の実施に当たり、自治会、商店組合など地元組織との連携が図られている。	<input type="radio"/>
④計画期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	<input type="radio"/>